

Y04b 多機関連携プロジェクトの科学広報

吉戸智明、矢部あずさ（筑波大学）、入江敦子（KEK）

近年、科学と社会の関係をより良くするために、科学コミュニケーション活動が盛んに行われるようになった。科学者から一般市民に対して知識を伝達するだけでなく、市民からも能動的に参加する双方向の活動である。

この科学コミュニケーションと似て非なる活動が、科学広報である。科学広報の目的は以下の3点である。(1) 組織と社会のより良い関係を構築し、組織の存続・発展に寄与すること (2) 組織のトップが運営判断をするのに必要な、内外の情報収集をすること (3) 集めた情報を活用して組織運営に生かすこと組織のマネジメントの一環であることが、科学コミュニケーションとの違いだ。

計算基礎科学連携拠点（JICFuS）は、文部科学省 HPCI 戦略プログラム分野 5「物質と宇宙の起源と構造」を運営している。全国で 10 以上の大学・研究機関が参画し、京速コンピュータ「京」を使って素粒子、原子核、そして宇宙物理の計算科学を推進するプロジェクトである。

このような多機関が連携するプロジェクトでは、組織間の調整が重要になってくる。計算基礎科学連携拠点で行っている広報戦略の立案および実施、その中で生まれた広報グッズ、量子色力学カードゲーム『Quark Card Dealer』などについて紹介する。また、科学広報の評価についても述べる。